

なかしべつ 議会だより

No.141
令和6年4月



男子プロバスケットボールチーム「レバンガ北海道」から中標津小・中標津東小・丸山小・計根別学園にバスケットボール20個が寄贈されました

主な内容 3月定例会 (P2)

予算審査特別委員会 (P3～5)

厚生常任委員会代表質問 (P6)

一般質問 6名 (P7～10)

議会ホームページ



3月定例会 全議案可決

条例改正案など

令和6年3月定例会を3月4日から14日まで開催。補正予算および条例、令和6年度各会計予算などの議案について審議し、議決しました。

■令和5年度各会計補正予算

◇一般会計補正予算（第7号）

4082万円を減額し、総額169億1918万円となりました。

（単位：千円）

	総務費	民生費	衛生費	農林業費	商工費	土木費	教育費	計
補正額	47,702	105,899	△ 56,100	△ 12,700	△ 15,115	△ 69,955	△ 40,551	△ 40,820

【主な補正内容】

《住民税均等割のみ課税世帯臨時特別給付金給付事業》

【事業費：6148万1千円】

対象：令和5年度住民税均等割のみ課税世帯（600世帯）

給付：1世帯当たり10万円

《子育て世帯臨時特別給付金給付事業》

【事業費：3944万8千円】

対象：「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」および「住民税均等割のみ課税世帯臨時特別給付金」の対象者のうち、18歳以下の児童を養育する子育て世帯（対象児童数751人）

給付：児童1人当たり5万円

◇後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）：保険料収納見込み額増に伴う保険料等負担金の増額補正

◇介護保険事業特別会計補正予算（第3号）：事業費の確定による減額補正

◇水道事業会計補正予算（第2号）：事業費の確定による減額補正

◇簡易水道事業会計補正予算（第3号）：事業費の確定による減額補正

◇下水道事業会計補正予算（第3号）：事業費の確定による減額補正

◇町立中標津病院事業会計補正予算（第3号）：事業費の確定による減額補正

■条例の一部改正

◇中標津町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例制定

◇中標津町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定

◇中標津町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定

◇中標津町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定

◇生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定

■承認

◇専決処分の承認を求めることについて

一般会計補正予算（第6号）：除雪費委託料5000万円増額補正

■請願

◇発達障害の子供達への支援を強化することを要望する請願 厚生常任委員会に付託



定例会最終日、起立採決の様子

予算審査特別委員会

前年度比1.3%増

過去最高額

各会計総額予算 302億7334万円

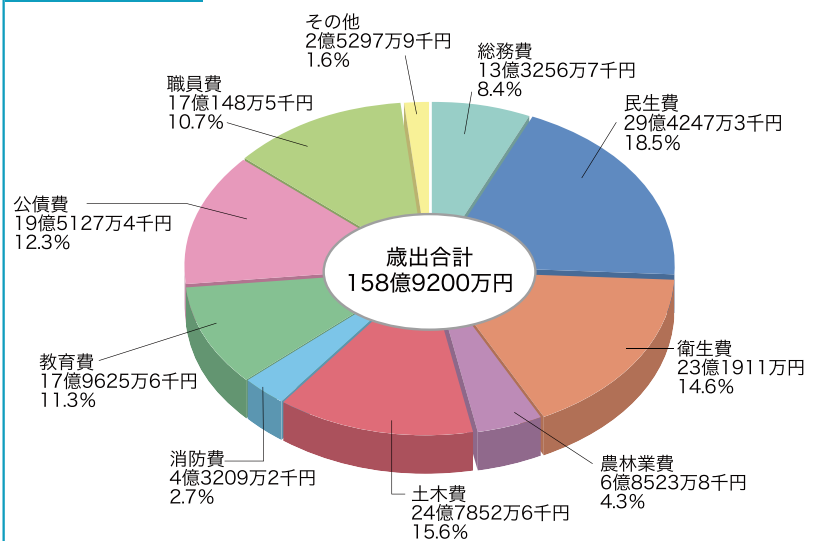
一般会計	158億9200万円
特別会計	48億8414万6千円
企業会計	94億9719万4千円

令和6年度一般会計予算、各特別会計予算、企業会計予算、ならびに関連する条例制定等については、予算審査特別委員会（吉田貫一委員長）に付託されました。

委員会は3月5日・6日・11日・12日の4日間にわたり開催され、慎重かつ熱心に審議が行われました。

3月14日定例会最終日に、結果報告、質疑、討論となり、佐久間ふみ子議員、安藤美佳議員が賛成討論を行い、採決の結果、全会一致により、原案どおり可決されました。

一般会計予算 その他のうち、議会費9037万4千円(0.6%)



主な事業

○窓口DX推進事業（書かない窓口の導入）	3140万7千円
○屋外拡声装置設置事業（13基の実施設計）	628万1千円
○機能訓練事業（身体機能の維持回復支援）	55万円
○緑ヶ丘森林公園キャンプ場利用促進事業 （キャンプ場本工事：敷地造成、管理棟・トイレ設計委託他）	3億8696万6千円
○学校施設等冷房設備整備事業（全7校の実施設計）	2932万6千円
○物価高騰対策学校給食費支援事業（小中学生100食分の給食費無償化）	4921万7千円

関連する条例

- 中標津町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定
- 中標津町基金条例の一部を改正する条例制定
- 中標津町地域子ども・子育て支援事業の実施に関する条例の一部を改正する条例制定
- 中標津町介護保険条例の一部を改正する条例制定
- 中標津町営牧場設置条例の一部を改正する条例制定
- 中標津町合葬墓条例制定
- 中標津町機能訓練事業実施条例制定

令和6年

予算審査特別委員会「問」

答



総務部所管

◆施政方針



さらに新しい対策を考え
ていきますか。

【答弁】
車の活用の課題があり
ましたので、今後車を使
える形で検討していきま
す。

◆役場庁舎冷房設備 整備事業



【質問】

3階には利用頻度の高
い部屋が他にあると思
いますが、委員会に
理由を教えてください。

【答弁】

各階にクーリングシ
ェルターを設置するに
当たり、委員会は一
部事務組合などで他
町の議員等控室とし
て利用することです
か。

町民生活部所管

◆施政方針



【質問】

子ども家庭センタ
ーの設置について、
具体的に設置する場
所はどこですか。

【答弁】

部署は子育て支援課
を事務局とし、保健
センターと体制を構
築・強化して実施し
ていくものになりま
す。

【質問】

各自自治体では、子
育て世帯を訪問し、
育児や家事の支援、
また課題のある就
学児童への支援など
様々な取組をしてい
ますが、何か特化し
た取組のビジョンが
ありますか。

【答弁】

児童虐待に関わる
体制が充実していま
す。センター設置で
早期発見・早期対応
等が期待できると思
います。

◆全町内会連合会活 動推進事業

【質問】

令和4年度から同額
の630万円が計上さ
れています。行政側
からの金銭的な

支援もなく、全町内
会連合会でやってくだ
さいといふことな
のでしょうか。



【答弁】

予算は人件費並びに
活動費の支援の補助
金です。総務事業中
に町内会加入促進事
業があり、その中で
フォーラム等の実施
については議論が必
要だと思いますので
引き続き検討してい
きます。

【質問】

去年と同じような
やり方で、これから
議論をして、町内会
の加入率アップにつ
ながっていくと考
えているのでしょうか。

【答弁】

フォーラムがすぐ
に加入率の変化につ
ながるかというとし
ては難しい部分もあ
りますので、全町連
と引き続き、必要
性・優先順位など
十分協議していき
ます。

◆機能訓練事業

【質問】

指導はあくまで保
健師またはトレーニ
ング指導者が当
たるのか、指導者
や運用について説
明願います。

【答弁】

指導人員は、介護
支援係に理学療法士
が主に担当します。
また、体育館・病
院スタッフ等との交
流・連携を図って
いきます。

経済部所管

◆施政方針



【質問】

国際化、地域間交
流の促進について、
この事業は基本的
に留学生が中心と
なっています。

留学生が町に就
労してくれる仕組
みづくりが必要だ
と思いますが、ど
のよ

うに考えていますか。

【答弁】

現在、留学生は進学しない限りは日本に残れないという状況もあり、岩谷学園と連携し取組を進めています。

【質問】 地元の企業にマッチングする人材を丁寧につないでいく必要があります。今回、構築している送出機関の関係者、大学の関係者と引き続き協議していきます。

【質問】

技能実習生に力を入れていくべきではないでしょうか。

町がPRし、企業、監理団体をつなぐ役割を行うことについてはこのようにお考えでしょうか。

【答弁】

地元での意見交換会に参加していただき、顔の見える関係の構築に努めていきます。

◆旬の食材活用推進事業

【質問】

本年の予算は昨年と同じ100万円となつていますが、この内訳を教えてください。

てください。

【答弁】

振込手数料等総務費、郵送料等の通信運搬費などがありますが、予算の90%程度を広告宣伝費として見込んでいます。

【質問】

商品のメニューを考案するための費用、原材料費など、飲食店にとっては大変という声も聞かれました。

飲食店からの昨年の反応、手応えは、どのように捉えていますか。

【答弁】

総会の前に各認定店にアンケートを実施し、確認していきます。

建設水道部所管

◆町有建物等解体事業



【質問】

現在、シルバー人材センターが使用していると

ころは、町の中心的な位置ですが、次につなげる利活用の計画があつての事業ですか。

【答弁】

建物解体後の跡地利用は、現時点では民間への売払いを想定しています。

なお、建物が解体され更地となるまでの間に、具体的な売払い方法など、方針の詳細について整理します。

◆配水管整備事業



【質問】

配水管改修は、従来の管と同じものを使用しますか。

それとも耐震化用の管を使用しますか。

【答弁】

現行の中標津町水道ビジョンでは、管路更新時には耐震管等を使用し、地震に追従できる管に入れ替える方針を定めています。

ます。

令和6年度も、この方針に沿って工事を行います。

教育委員会所管

◆教育行政方針



【質問】

部活動の地域移行について、教職員の働き方改革による負担を減らす考えが欠けていませんか。

【答弁】

部活動は、スポーツ・芸術・文化等の幅広い活動機会を得られ、体力や技能の向上に資するだけではなく、教科・学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会でもあります。

地域移行を進めていき、結果として教職員の負担軽減につながると考えています。

◆学校給食事業



【質問】

給食費の100食無償化を半額減免で通年にする考えはありませんか。

【答弁】

学校ごとに食数が多い、半額減免では平等に支援できないことから、100食無償としました。

町立病院所管

◆医師確保対策経費



【質問】

他会計からの補助金として、合計金額が12億78万7千円、その約3分の1にあたる3億8千67

1万9千円が医師確保対策経費の補助分となっております。

その内訳について教えてください。

【答弁】

非常勤医師報酬・旅費の一部、宿泊料、営業車使用料、手数料、正職員・会計年度任用職員の給与の一部も、繰入れ経費として算入しています。

◆非常勤医師に係る経費

【質問】

出張医師に対する経費削減、努力項目を教えてください。

【答弁】

派遣元の医局と滞在泊数を増やしてくれることはできないか交渉しています。

【質問】

どの医師が派遣されてくるのか、何日前ぐらいに決定していますか。

【答弁】

前月の下旬から中旬に連絡があり、翌月の予定を作成している状況です。

3月定例会で以下の項目について町長および教育長から報告を受けました。

一般行政報告

1. 要望等について
2. 寄贈金品について
3. 外国人財誘致推進事業について
4. 学校法人岩谷学園について
5. なかしべつ内科クリニックの開業について

教育行政報告

1. 各種大会等の出場結果について



詳しい内容はこちらのホームページに掲載しています。
<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/gyouseihoukoku/>

委員会 代表質問

委員会代表質問の
全文をこちらのホ
ームページに掲載
しています。



<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/inkaidaihyousitumon/>

厚生 常任委員会

質問

子育て応援制度の確立を



ひらやま ひろみ
平山 光生 副委員長

町長答弁
 プラチナ保育事業については

保育士不足の緩和対策と、2号3号保育枠の確保のために、プラチナ保育事業（祖父母等が保育所入所要件を満たす3歳児未満児の保育を継続的に行っている場合、児童1人につき月額1万5千円を祖父母に支給する事業）の実施が必要ではないでしょうか。

質問2

子育てと両立し、安心して働ける社会づくりに向けて、情報収集を進めていきます。

町長答弁

子育て世代の雇用拡大の対策に、子育てしながらでも就労できる仕事コンビニ事業（官民連携で行う業務委託型短時間ワークシェアリング事業）の取組が必要ではないでしょうか。

質問1

調査研究を進めていきます。

質問3

医療費については、1市4町で独自事業を行っているのは当町のみです。

できないからゼロではなく、医療費や給食費の個人負担の内2割補助など、少しでも応援する町の真摯な姿勢を見せることが大切ではないでしょうか。

町長答弁

働く女性の就労環境の充実に注力し、児童館の指導員のフルタイム化と処遇改善を来年度から実施する予定です。

給食費の無償化は、本年4月～9月までに限って、臨時交付金を財源に、小・中学校の給食費を無償化することとしています。

再質問

少しでも負担軽減につながる取組を行うことについて、どのようにお考えでしょうか。

町長答弁

負担することが町の財政・住民にとって、どういった意味合い、政策につながっていくのか考えていかなければなりません。世帯の収入が増えるような施策につながる努力をしたいと考えています。

中標津町長選挙及び 中標津町議会議員選挙の 選挙期日等の決定について



条例はこちらの
ホームページに
掲載しています

- 1 公示日 令和6年8月20日（火）
- 2 選挙期日 令和6年8月25日（日）

《公営対象拡大》 選挙運動用自動車の使用、ビラの作成、ポスターの作成の公費負担

《供託金制度の導入》 供託は、当選を争う意思のない人が売名などの理由で無責任に立候補することを防ぐための制度です。

その候補者の得票数が規定の数に達しなかった場合や、候補者が立候補を辞退した場合には、供託された現金（町議は15万円）は全額没収され、町に納められます。

人事案件



いしだ じゅんいち
石田 順一 氏

任期 令和6年4月1日から
令和10年3月31日

根室町村等公平委員会委員の
選任について同意しました。

一般質問

全文はこちらのホームページに掲載しています。

<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>



質問 災害時の燃油備蓄と輸送手段の確保を

答弁 広域的な視点で調査対応を研究します

まつむら やすひろ
松村 康弘 議員

質問

先般東北大震災に関し、岩手県遠野市と陸前高田市を視察してきました。30年以内に千島海溝沖で発生すると予測される巨大地震と津波ですが、もし釧路港の油槽所機能が停止した場合、実感を持つて想定できるようになりませんでした。

津波による油槽所の機能停止、国道272号線等の通行不能は一定期間あることを前提に、燃油の備蓄対応状況について質問します。

道路が片側一車線の下にあっても、四駆の軽ト



町長答弁

うはドラム缶を積んで燃油を届けることができ、非常時に対応する志願者の登録などを研究し、災害時の備えとすべきではないでしょうか。

災害時における燃油の備蓄ですが、指摘された状況下においては供給に困難をきたす場合も想定され、今後は広域的な連携も視野に訓練を通じ、様々なシミュレーションを行い燃油供給体制の確保について調査研究してまいります。

軽四トラックの活用については補償や費用負担のあり方など課題もあります。が、厳しい道路状況下の輸送の確保について研究してまいります。

他の一般質問

● 同行・体験ガイドをなりわいとする事が可能な研究を

質問 安心の就学へ「5歳児健診」の実施を

答弁 実施に向けた検討をします

佐久間 ふみ子 議員



質問

落ち着きがない、周囲とうまく関われないなどの発達特性を持つ子どもたちは、小学校への就学後に、環境に適応できず不登校になったり、問題行動を起こしてしまったりすることが少なくありません。

子どもの成長に不安を感じているが、どこに相談したらよいかわからず、1人で悩みを抱えてしまう保護者は多いのではないだろうか。

わが子の特性を理解し、関わり方などについて専門家に相談できる機会としても、5歳児健診の実施は大変重要であると思います。乳幼児健診は、1歳6か月健診、3歳児健診が母子

保健法で義務化され、実施されてきましたが、昨年、新たに1カ月児と5歳児の健康診査に係る費用を、国が2分の1助成することになりました。

健診で発達障がいなどを早く発見し、就学前までに必要な支援に繋げて、子どもと保護者が安心して就学を迎えるため、5歳児健診の実施体制を整備すべきと考えますが、町長の見解をお聞かせください。

町長答弁

5歳児健診は、原則、保健センターで行う集団健康診査です。

実施には、健康診査の日程・医療機関との調整が必要です。

また、必要な支援に繋げるフォローアップ体制の充実に、市町村の関係部局や都道府県などと協力できる体制構築など、多岐にわたる準備が必要です。

これから示される国からのマニュアル等に基づき、令和6年度中に実施に向け検討します。

質問 女性の雇用創出と居場所作りを

答弁 施策展開を図る努力をします

江口 智子 議員



質問

令和4年、女性の町外流出に抗するために質問した「女性デジタル人材」育成について、調査研究の状況を伺います。

町長答弁

特に若年女性の流出について強く懸念をしています。令和4・5年に実施したアンケート調査では、就業・転職で働いてみたい職業に「医療・福祉・介護関連」や「美容・ファッション関連」と回答した女性がそれぞれ20%程度だったのに対し、「IT・通信関連」と回答した女性は5%程度でした。

再質問

当町は様々な分野で開業

している女性が多く、こうした女性が町内外に交流を広げ、長く事業を継続できるように、開業時の補助金以外にもつながれる場を設けるべきです。

あわせて飲食店なども「おひとりさま歓迎」の雰囲気を作ってはどうか。

町長答弁

令和5年の空き地空き店舗等活用事業補助金の活用実績は、6件中3件が女性で、過去5年においても20件中、女性が9件と男女差なく支援を行っています。

女性の起業の内容は美容業・ネイルサロン・菓子製造・生花販売・写真業と多様な視点の企業となっています。

再質問

中標津は女性が元気な町であり、人口流出改善のため、もつと女性の仕事に焦点を当てて起業の後押しをすべきではないでしょうか。

町長答弁

さらに力を入れて施策展開を図り、飲食業関係者にもPRします。

質問 学校の臨時休業時に児童館の開館を

答弁 令和6年度からの受け入れ開始に向け検討します

まつの みやこ 議員 松野 美哉子

質問

町内の小中学校は、昨年の猛暑と大雪により登校時に歩道が除雪されないなど、天候の変化による臨時休校がありました。

町内に子どもを預けられる親戚がいないと、仕事を休むしかありません。

また、子どもだけの留守になると、火の始末や、災害が発生した時の対応についても心配があります。

みずほ情報総研のレポートによると、家庭や社会状況の変化から、親も子ども達も相談先がなく、孤立しやすい状況にあるとされています。

2018年度版の「児童



館ガイドライン」では、拠点性・多機能性・地域性という児童館にしか果たし得ない機能・役割があり、子どもや子育て家庭を守る防波堤となりうる施設として考えられ、児童館が地域で果たす役割と可能性を表しています。

今、子育て中の親たちの困りごとのひとつである、学校の臨時休校時の児童館開館は、町の仕事ではないでしょうか。

町長のご見解をお聞かせください。

町長答弁

令和6年度予算において夏までに、各児童館の児童クラブ室などにエアコンを設置する予定で、今後は暑さによる児童館の休館はないと考えています。

異常気象時の、児童館の開館については、保護者のニーズ調査を行い、必要人数を把握し、令和6年度からの受け入れ開始に向け、条件等について検討します。

質問 職員の離職を防ぎ意欲を高めるための対策を

答弁 人事評価制度の見直し定員管理計画の改定に向け検討していきます

あべ たかひろ 議員 阿部 隆弘

質問

職員の離職を防ぎ、意欲を高めるための対策について、3点お伺いします。

1点目 ストレスチェックについて

毎年、確実に実施されているのでしょうか。

また、本町は集団分析も実施し、どのように活用しているのでしょうか。

2点目 人事評価について 本来の目的である人材育成に活用されているのでしょうか。

面談を全組織で実行することが重要と考えますがいかがでしょうか。

3点目 職員定数について 何人の人員が不足し、代替職員が配置されているの



か、人員不足による兼務発令はどのくらいになっているのか、現状把握と対策が重要と考えますがいかがでしょうか。

以上3点について、町長の考えをお聞かせください。

町長答弁

1点目 毎年、WEBシステムによる調査を行い、部・課ごとの集計と分析結果を中標津町職員衛生委員会に報告のうえ、各所属長へ提供しています。

2点目 職員のモチベーションにつながる人事評価制度の構築に向けて、見直しを進めていきます。

3点目 令和5年4月1日時点の職員数は186人で、会計年度任用職員については育児休業中職員の代替職員を除いて、配置はなく、また、職員の不足への対応のための兼務発令もなく、中標津町定員管理計画と併せて改定に向け検討していきます。

質問 標津断層帯を震源とする地震災害の対策について

答弁 地域防災計画により各関係機関と協力体制を構築します

たかはし よしさだ
高橋 善貞 議員

質問1



羅臼町から中標津町まで約52kmの山際に位置する「標津断層帯」の全体が地震源となった場合、マグニチュード7.7以上の地震が想定され、活断層沿いに約4mの隆起またはたわみの発生が予想されています。特に水道管の早期復旧は酪農地帯において重要な課題です。

町長答弁

中標津町地域防災計画に基づき各関係機関への応援・派遣体制をとり、水道施設は町内水道管工事業者をはじめ、日本水道協会を主体とした広域的な連携体制による復旧を図ります。

質問2

羅臼町・標津町の活断層調査は航空レーザー測量等で実施しましたが、中標津町区間の詳細な調査は行われていません。

関係する文部科学省を中心とした調査関係機関に対し、更なる標津断層帯の調査解析の要請を行うべきと思いますが、町長のお考えをお聞かせください。

町長答弁

現在、調査機関にて解析中の調査結果等を注視してまいります。

質問3

発生確率等が「不明」の地震の危険性を改めて町民に周知し、標津断層帯地震の備えをお願いすべきですが、町長のお考えをお聞かせください。

町長答弁

今後新たに示される調査結果や防災対策など、最新情報を広報紙・出前講座・防災訓練・防災教育等様々な場面を活用した情報発信で、さらなる防災意識の向上に努めてまいります。

令和5年度 釧根林活連絡会議研修会

日時：令和6年2月20日(火) 13:30～14:30

場所：釧路工業技術センター 会議室

講演：『北森カレッジにおける人材育成』

講師：北海道立北の森づくり専門学院 教育課長 宮田 久氏

～100年先の風景（もり）をつくろう～

北森カレッジ設立の背景や、概要、授業の特徴、入学生・卒業生の状況、北海道林業の可能性についての講演がありました。

卒業後、道内の林業・木材産業の中で、「即戦力となる人材」「将来的に企業等の中核を担う人材」の確保に向けて、カリキュラムを進めています。



林活議連 幹事 松野 美哉子議員

防災に関する 道外視察研修

令和6年1月15日(月) 岩手県遠野市・陸前高田市



昨年8月に開催した議会の防災力アップ講座で、講師を務めていただいた陸上自衛隊第5旅団より、東日本大震災の折りに沿岸部の後方支援で力を発揮した遠野市が、地理的に中標津町との類似点が多いとして視察の提案があり、議会での協議を経て今回の視察に至ったものです。

2007年の岩手県総合防災訓練を始め、東北地方は大災害を想定した訓練が頻繁に実施され、回を重ねるごとに三陸沖沿岸部が被災した場合は、内陸に位置し救援部隊の受け入れ可能な敷地を有する遠野市を、後方支援拠点とすることが県内での共通認識となっていたそうです。

遠野市では支援物資の仕分け拠点となった稲荷下屋内運動場、続いて全国から救援活動に集結した自衛隊が活動拠点を置いた遠野運動公園の視察を行い、総合防災センターでの座学となりました。

遠野市では、津波が来ない内陸だからこそ自らが果たすべき役割を「後方支援」と定め、総合防災センターの建設を可決した2011年3月定例会の翌日に、東日本大震災が発生しました。



稲荷下屋内運動場



遠野市後方支援資料館

自宅で遅い昼食をとっていた本田前市長が自転車で役所に駆けつけ、遠野運動公園を救援活動拠点として開放する指示をしたのは午後3時、地震発生後わずか14分後のことです。

当初は2000人の市民が避難しましたが、ライフラインは数日で復旧し、市民が一丸となって支援物資の仕分け、運搬や炊き出しの協力をしました。

こうした後方支援は「親類縁者の多い隣接地域が被災したら、支援せずにはいられない」との思いが行動に現れたものだと感じました。

午後からは陸前高田市消防防災センターにて、消防の救援活動について伺いました。

地震で倒壊した家屋を15メートルの津波がさらい、流失したプロパンガスによる2週間にも及ぶ火災を消しながら、がれきを撤去し被災者を救援する活動には、大変な苦労があったとのこと。

根室管内4町においても、本年9月に予定する総合防災訓練の検証を通し、中標津町が後方支援にかかる提案書を



陸前高田市消防防災センター

策定し、関係機関に呼びかけることが大切だと考えます。

ひとたび大災害が発生した時は、法律や制度を超えた、自治体間のヨコの連携が機能を発揮するとして「東日本大震災の教訓は、自治体間の応援協定、姉妹協定といった水平連携を構築・強化することだ」との言葉が強く印象に残りました。



陸前高田市奇跡の一本松

総務文教常任委員会 委員長 江口 智子

進んでいます!! 議会改革

審議結果報告を 行いました!!

令和2年9月の設置以来、3年半にわたり調査研究活動を行ってきた議会改革特別委員会は、3月定例会において審議結果の最終報告を行い、委員会活動を終了しました。

期間中に開催した委員会は47回、諮問の審議のほか、池田町や幕別町など5つの議会へ先進事例の視察、コロナ下においてはオンラインによる研修の受講など、町民の皆さまから寄せられた期待の声を励みに、精力的な活動を続けてきました。

今後も議会改革と議員個々の意識改革を両輪として、住民福祉の向上に一層まい進します。

報告の要旨は次のとおりで、これまでの条例改正などは、過去の報告と合わせてご覧いただくと幸いです。



こちらをご覧ください

1 改選時より議員定数が、3名減の15名になります。

改革の核となるのは常任委員会の活性化であることから、適切な定数算出の根拠として、常任委員会数と委員定数の再編を行い、15名に削減しても現状の機能を損なうことなく議会運営が可能であるとの結論に達し、改選後の議員定数は15名とすることにしました。

2 改選時より議員報酬が増額になります。

改選後は常任委員会が現在の3から2になり、活動量の大幅な増加が見込まれること、低い議員報酬が議員のなり手不足の要因となっていることなどを考慮し、議員全員の活動量をもとに原価方式で算出した金額を、町長の諮問機関である中標津町特別職報酬等審議会で審議していただいた結果承認されました。

改選後の報酬は議長 361,000円、副議長 300,000円、委員長 284,000円、一般議員 255,000円となります。

3 常任委員会が2つに、委員定数は7名になります。

新たな委員会の名称は「総務経済常任委員会」および「文教厚生常任委員会」で、議長は両委員会にオブザーバーとして出席します。

4 通年議会は継続審議を求めます。

通年議会の導入により、定例会と定例会の間に生じる閉会期間をなくし、切れ目のない主体的な運営をすることが可能であり、常任委員会活動の充実につながるとして、導入すべきであるとの結論となりましたが、具体的な運用については行政側との調整が進んでいないため、改選後に継続して審議されることを求めます。

5 議会基本条例制定は継続審議を求めます。

今期で推進してきた議会改革の更なる活性化を図るため、議会基本条例を制定すべきとの意見で一致しました。

改選後に継続して審議されることを求めます。

議会改革特別委員会 委員長 ^{えぐち}江口 ^{ともこ}智子

総務文教常任委員会 活動レポート



総務部

● 北方領土対策について

「北方領土の日」関連事業や高校生による「プロジェクトN」巡回活動の説明を受けました。

また、冬まつり会場での署名活動に参加しました。



北方領土返還要求署名活動

● ふるさと納税について

ふるさと応援推進事業は、中間事業者の切り替えて増額が見込まれましたが、前年対比4.4%の減になったとの説明を受けました。

委員 中間事業者の切り替え

で、寄贈額が減となった要因は。

担当 中間事業者が変わったことで以前のレビューが削除されたこと、総務省のルール改正、返礼品の人気商品の品切れなどです。

今後はこれらを充実していきます。

委員からは、近隣自治体との商品のコラボやモニターの活用など、喜ばれる商品開発などに対する提言が出されました。

● 地域防災計画について

新たに策定予定の地域防災計画の中から、特に地震防災計画について説明を受けました。

法の規定に基づいて、近年の災害発生状況の内容を踏まえた計画としています。

委員 地震災害時の自衛隊の広域活用と、駐屯も視野に入れた考え方は。

担当 1市4町の後方支援からも必要と考えるが、根室振

興局とも連携し、訓練を通じて周知を図っていきます。

● まち・ひと・しごと総合創成戦略について

人口減少に対応した重点政策の令和4年度の実績・効果検証報告がありました。

生産年齢人口は令和4年度実績で、1万3767人です。

あらゆる分野での人手不足問題が深刻化しているため、ひとつの方策として、今後外国人財誘致も必要としています。

教育委員会

● 郷土資料収蔵庫の整備について

各収蔵資料は、既存の施設に分散して保管のため、整理保存に苦慮していました。

令和9年を目標に西8条北5丁目の明治飼糧株式会社横

に、収蔵庫建設の計画説明がありました。

また、中標津町文化財保存活用地域計画が、文化庁から認定された報告がありました。

● その他

・ 消防団との懇談会

2月11日に開催した懇談会では、団員のなり手不足問題や現在の充足状況と、各分団・女性消防団の活動状況について懇談しました。



消防団との懇談の様子

委員会開催

2月2日
2月4日
2月11日
2月19日

(熊倉 重樹 議員)

厚生常任委員会

活動レポート



町立病院

●管理運営について

令和5年12月末の外來患者数・診療収入は、前年同期・予算を上回る状況で、入院患者数は前年同期・予算ともに下回りますが、入院診療収入は前年同期を上回る状況との説明を受けました。

●LINE通知の運用について

3月より、外來待合における診療案内としてLINE通知サービスの試験運用開始の広報を行うこと、内容として外科・小児科・耳鼻科での診療順番5番前になるとメッセージが届くもので、ひとつのLINEアカウントに対して5名まで登録可能との報告を受けました。

委員 LINEの利用はどの程度を見込んでいますか。

担当 外來患者数が月に1万2千件、その内1千件程度を見込んでいて、年間3万通まで定額料金となっています。

委員 待ち時間を知らせてはもらえませんか。

担当 診察窓口を確認するところで、おおよその時間を口頭でお知らせできますが、LINEでの通知はできません。
委員 今後15分などへ延長する可能性はありますか。

担当 現在は敷地内に限定しています。

サービス拡大については検討したいと思います。

委員 電子カルテシステムで自動的に配信されるのですか。

担当 システムによる自動配信で番号表示と連動しています。



友だち追加はこちら

町民生活部

●地域福祉・障がい者支援事業について

「中標津町高齢者福祉計画」「第9期介護保険事業計画」「中標津町障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」の概要について説明を受けました。

●健康づくり推進事業について

（第2次中標津町生きるを支える自殺対策行動計画）
計画（案）の概要について説明を受けました。

●子育て支援事業について（病児保育事業）

4月1日供用開始に向け、事業者の内定および町立病院1階談話室の改修・備品等の準備・関係条例の改正を予定。対象児童・利用定員・利用

日・利用時間については変更なく、受け入れる症状の範囲は感染症のみで調整中との報告を受けました。

委員 町内保育事業所とは。
担当 契約予定で話をしている事業者があり、進めています。



病児保育室にここに

●子ども家庭センターについて

保健師の応募がなく、体制が整いしだい開設予定との報告を受けました。

委員会開催 1月23日

2月15日

（平山 光生 議員）

産業建設常任委員会

活動レポート



経済部

●農業振興について

(ヒグマ春期管理捕獲)

捕獲期間は令和6年2～3月に計2回実施します。

捕獲区域は人の生活圏(市街地・集落・農耕地・キャンプ場・登山道など人が日常的に利用するエリア)から概ね10km以内の区域としています。

委員 本来の目的であるハンターの育成は今後、本町としてどのような目標を立てていますか。

担当 現在58名いるハンターを維持していかななくてはならないので、これから方針計画等を考えていきます。

●町営牧場運営について

肥料や資材価格等の高騰により、支出が収入を上回っている状況にあります。

町営牧場の赤字縮小に努めるため、100円程度の使用料の増額になります。

また、開陽台牧場のみで放

牧事業を実施することによる作業の効率化と牧場職員の負担軽減を図るため、令和6年度から依橋牧場での事業は廃止となります。

●観光振興について

(開陽台駐車場トイレ)

新設されるトイレは既存の浄化槽および配管を利用できる場所、景観や眺望を阻害しない観点から、現在のトイレの裏側に建設予定となっています。



現在の開陽台駐車場トイレ



新トイレ位置図

●空港対策について

(HAC接続バス)

根室交通が実証運行した中標津エアポートライナー運行実績(12/1～1/9)の説明を受け、結果、乗車数が1ヶ台台というところもあり、あえて接続することはないとの結論に至りました。

●外国人材誘致推進事業について

(海外派遣の報告)

令和5年12月21日、タイ(バンコク)・令和6年1月19日、ベトナム(ハノイ)で行なわれた中標津町PRセミナーの報告を求めました。

各現地の教育機関や送出機

関へのパンフレットの配布、動画を使い中標津町のPRやアンケートを行った結果等について説明がありました。

留学および就労についての当町への人材の送り出しに前向きであり、具体的な人数や業種などについての要望があればすぐに送り出したなどの意見が多く寄せられました。

建設水道部

●中標津町大規模盛土造成地変動予測調査について

令和3年度に実施した調査における第二次スクリーニング調査の結果、「滑動崩落の危険性がある造成地」と判断された造成地について、有識者等の意見を踏まえ、今後、追加の地質調査を行い結果を見直していきます。

委員会開催 1月24日

2月13日

2月27日

(むねたか 一輝 議員)

令和6年1月から3月までの活動報告

月 日	行 事	出席者	月 日	行 事	出席者
1月6日	新年交礼会	議長・議員	19日	都市計画審議会	副議長・産業建設委員長
7日	令和6年中標津町二十歳のつどい	議長・議員	20日	3月定例会議件事前説明	正副議長・正副議長委員
8日	中標津消防団出初式	議長・議員			員長・二常任委員長
9日	(一社)中標津青年会議所新年交礼会	議長・議員			全全委員
10日	議会広報特別委員会	全全委			全全委
11日	議会改革特別委員会	全全委			全全委
14日～	防災に関する道外視察研修(岩手県	副議長・三常任委員長	25日	議会運営委員会	阿部林活連絡会議員3名
16日	遠野市・陸前高田市)	・議運委員長			議
16日	中標津町商工会新年恒例懇談会	議長・外2名	27日	産業建設常任委員会	全全委
17日	(一社)北海道中小企業家同友会南	議長・外2名	28日	議会運営委員会	全全委
	しれとこ地区会新年交礼会		3月1日	中標津町外2町葬斎組合、根室北部	関係議
19日	中司てつお新春交礼会	正副議長		消防事務組合、根室北部廃棄物処理	
22日	高規格救急自動車受納式	正議長		広域連合、根室北部衛生組合 各	
23日	厚生常任委員会	全全委			
	根室管内商工会連合会、町長・議会	全全議	2日	自衛隊入隊予定者激励会	議長
	議長と商工会正副会長が新年を迎え		4日	総務文教常任委員会	全全委
	語り合う会			厚生常任委員会	全全委
24日	産業建設常任委員会	全全委		産業建設常任委員会	全全委
27日	第五旅団第51回定期演奏会(帯広市)	議長・外1名		議会運営委員会	全全委
	中標津地区連合会定期総会・新年交	副議長		3月定例会本会議(1日目)	全全委
	礼会			全員協議会	全全委
30日	議会運営委員会	全全委	5日	3月定例会本会議(2日目)	全全委
31日	全員協議会	全全委		予算審査特別委員会	全全委
	なかしべつ冬まつり雪像制作団体陣	全全議	6日	予算審査特別委員会	全全委
	中見舞い			総務文教常任委員会	全全委
2月2日	総務文教常任委員会	全全委		厚生常任委員会	全全委
3日	なかしべつ冬まつり開会式	全全議		産業建設常任委員会	全全委
4日	総務文教常任委員会(北方領土返還	全全議	7日	厚生常任委員会	全全委
	要求署名活動)			産業建設常任委員会	全全委
5日	中標津町史編さん委員会	議長・全全委	8日	総務文教常任委員会	全全委
6日	議会改革特別委員会	三常任正副委員長	10日	衆議院議員鈴木貴子新春交礼会	全全委
	正副委員長会		11日	予算審査特別委員会	全全委
7日	「北方領土の日」根室管内住民大会	議長・外6名	12日	予算審査特別委員会	全全委
	(根室市)		13日	議会運営委員会	全全委
11日	総務文教常任委員会(中標津消防団	全全委	14日	3月定例会本会議(3日目)	全全委
	との懇談会)			全員協議会	全全委
13日	産業建設常任委員会	全全委		正副委員長会	全全委
15日	厚生常任委員会	全全議	15日	若合学園ひがし北海道日本語学校卒	議長
	北海道町村議会議員公務災害補償等			業式	
	組合議会定例会(札幌市)		19日	令和5年度北海道中標津農業高等学	議長
17日	北海道町村議会議長会理事会(札幌市)	議長・副議長		校教育懇談会	
19日	しげもとまもるを国政に送り出す会	正副議長	25日	議会広報特別委員会	全全委
	総務文教常任委員会	全全議	26日	議会広報特別委員会	全全委
	議会運営委員会	全全議			

議会だよりをお読みの皆様へ

限られた誌面の都合上、掲載できない下記開催の議会内容については、
中標津町議会ホームページからご覧いただけます。

●広域連合・一部事務組合の議会(3月1日開催)



議会だよりに対する ご意見をお寄せください。

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地
中標津町役場

TEL (0153) **73-3111**
FAX (0153) **73-5333**

〈議会事務局にご連絡を〉

- ・ホームページは
<https://www.nakashibetsu.jp>
- ・メールは
gikai@nakashibetsu.jp



ご意見はこちらから

発行／北海道中標津町議会
編集／議会広報特別委員会

自治功労者表彰

このたび、後藤一男議長が全国町村議会議長会から
自治功労者(町村議会議長として7年以上在職)とし
て、また、鈴木克弘
副議長、佐野弥奈美
議員が同じく自治功
労者(町村議会議員
として15年以上在
職)として表彰され
ましたので、3月4
日、議場で伝達式が
行われました。



左から、後藤議長、鈴木副議長、佐野議員